



本技術は既設の現場打ち側溝の風化、
破損した側溝上部(蓋掛り部を含む、厚さ 15cm～18cm)を
カットまたはハツリにより除去し、
その上にプレキャスト製品の CR スラブⅡ型を設置し、
上下を無収縮モルタルで一体化させ、
側溝上部をリメイクする技術です。

■使用例

「車が通るとガタガタうるさい」「歩行者に危険」、街中にそんな側溝がたくさんあります。

- ◆ 蓋だけ掛け替えても同じこと
- ◆ 新しい側溝に入れ替えるには費用がかかりすぎる
- ◆ 道路改良工事をすれば人や車の通行に影響が大きい

CRスラブⅡ型で補修すれば、
歩きにくい歩道や、側溝にフタが無く狭い道路でさえも見違えるようになります。



中部総合事務所：県道木地山倉吉線（河原町工区）側溝修繕工事（維持修繕）



西部総合事務所：県道大篠津停車場線側溝修繕工事（地方特定）

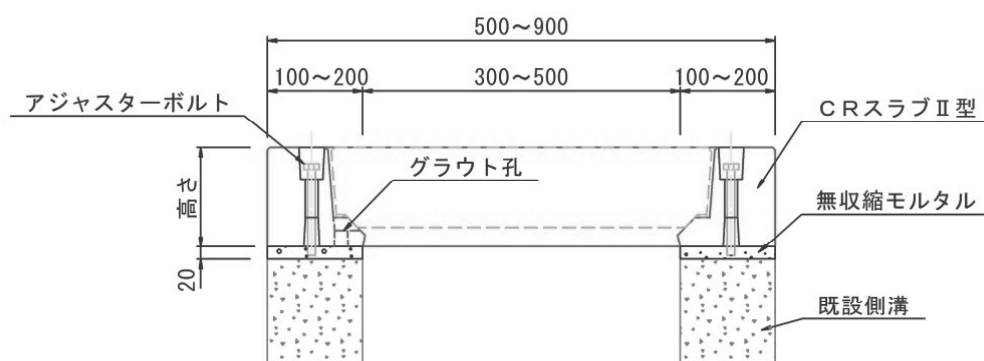


安来市役所：安来荒島線側溝修繕工事

■製品の特長

1. アジャスターボルトによる簡単な据付

製品を据付後、製品の四隅に埋め込まれたアジャスターボルトで製品上部より高さの調整が容易に行えるため、据付に要する時間が短縮出来る。



2. 無収縮モルタルによる養生時間短縮、早期解放

既設現場打ち側溝の上部とCRスラブⅡ型の間には、アジャスターボルトにより約2cmの空隙が出来ることがあるが、ここに製品上部にある注入孔より高流動性無収縮モルタルを注入し上下を一体化させる。

無収縮モルタルを使用するため、養生期間が短く、施工箇所を解放出来るまでの時間が短い。

3. 様々な寸法がある既設の現場打ち側溝への対応

製品は300用、400用、500用の3種類で、既設の現場打ち側溝の水路幅200mm～500mmまで対応出来る。

既設の現場打ち側溝は水路壁厚が現場によって異なるが、製品の側壁厚を100mm～200mmの間、1cmピッチで変え製造を行う事が出来る。

4. 水路の維持管理など施工後の供用を考えた蓋構造

製品長2m当り、1.5mは蓋を取り外せる構造なので、清掃等の維持管理が行える。

蓋掛り部の形状を、側溝上を車輛が通過する時に発生するガタツキ音を抑制する無騒音型とした。本体の設計荷重は縦断のT-25(乗入部横断 T-6)であるが、床版を変えることにより歩道・車道共に適用出来る。

製品図、寸法

CRスラブⅡ型寸法表

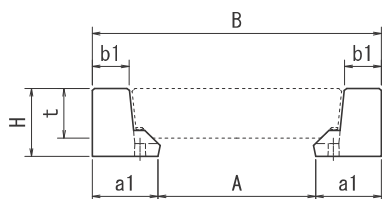
呼び名	側壁①	側壁②	天端①	天端②	総幅	高さ	蓋版厚	参考重量	±10mm	備考	対応既設水路幅(※)	
A	a1	a2	b1	b2	B	H	t	kg	kg		最小	最大
300	100～ 200	100～ 200	45～ 145	45～ 145	500～ 700	130	95	203	約6.5	基本側壁 150mm	200	300
400	100～ 200	100～ 200	45～ 145	45～ 145	600～ 800	140	110	233	約7.0	基本側壁 150mm	310	400
500	100～ 200	100～ 200	45～ 145	45～ 145	700～ 900	155	125	276	約7.5	基本側壁 150mm	410	500

※既設水路の側壁寸法によっては対応できる規格が異なりますのでご相談ください。

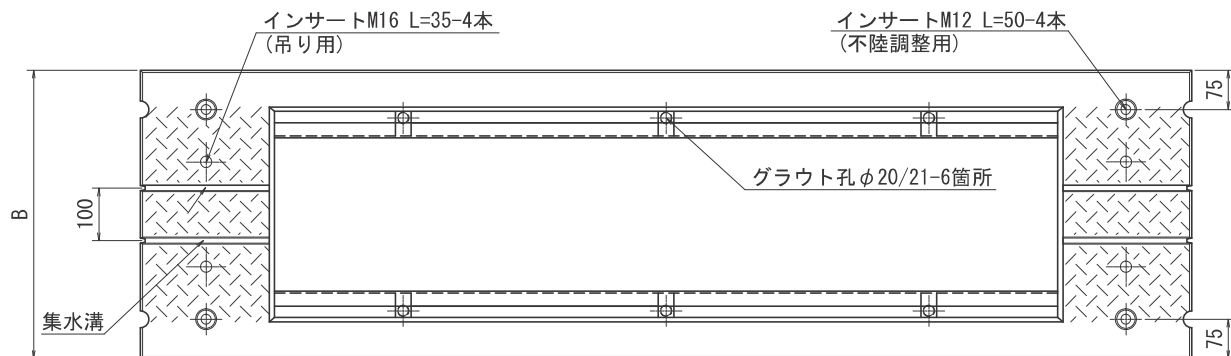
呼び規格例

400	- 150	- 120	× 2000
呼び名	側壁	側壁	製品長さ
A	a1・a2	a1・a2	
	(厚さ寸法大)	(厚さ寸法小)	

断面図



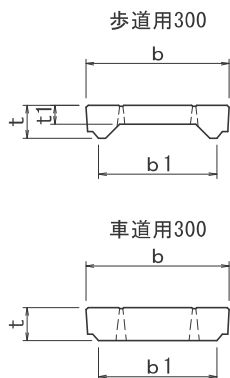
平面図



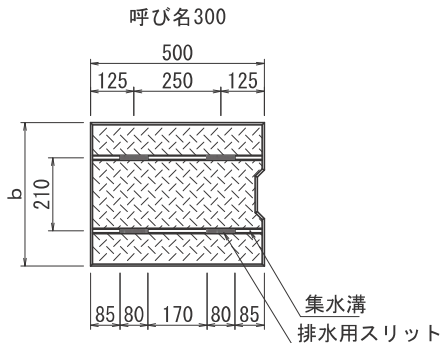
スリット付コンクリート蓋寸法表(製品名:トール)

種類	呼び名	寸法(mm)				参考質量 (kg)
		b	b1	t	t1	
歩道用	300	400	320	95	60	31
車道用	300	400	320	95	—	40
	400	500	416	110	—	60
	500	600	515	125	—	82

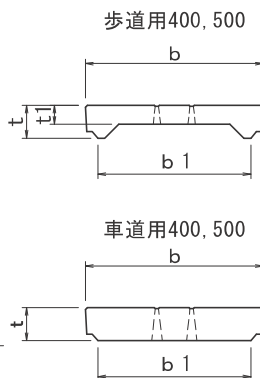
断面図



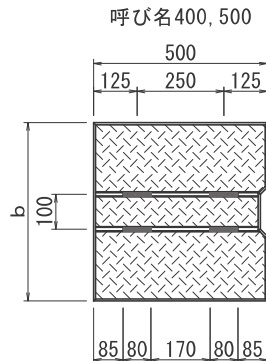
平面図



断面図



平面図



■施工方法



①既設の現場打ち側溝上部を製品厚+2cm位、カットとハツリにより除去します。高さが確保されていれば、ハツリ面のままで問題ありません。



②側溝上部の除去後、アジャスターボルトが当たる位置を均一に仕上げます。



③上部を除去した既設側溝の上にCRスラブⅡ型をセットします。
この時あらかじめアジャスターボルトを製品上部4隅にあるインサートに取り付け、製品下部より2cm位突出させておきます。



④水平器を見ながら製品上部よりアジャスターボルトで高さの調整を行います。



⑤既設側溝と製品の隙間に型枠をセットします。



⑥蓋掛り面に設けられた注入孔より高流動性無収縮モルタルを注入します。注入は下流より行ない、上流の注入孔でモルタル充填を確認します。



⑦養生期間を1日とった後、型枠を撤去し、製品上部のアジャスターボルト部をモルタルで埋めます。



⑧蓋を掛け、周囲を復旧すれば新設の側溝と変わらない出来栄になります。

■オプション製品

- 横断部(T-25対応)に使用可能
- 施工方法はCRスラブⅡ型とほぼ同様です

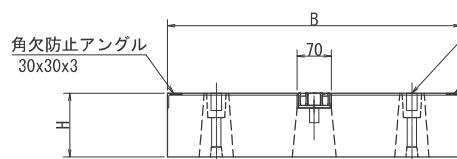
CRスラブ横断用



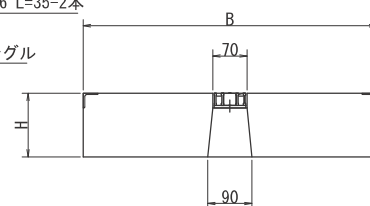
CRスラブ横断用寸法表

呼び名	総幅	高さ	参考重量
A	B	H	kg
300	600	130	340
400	700	140	435
500	800	155	545

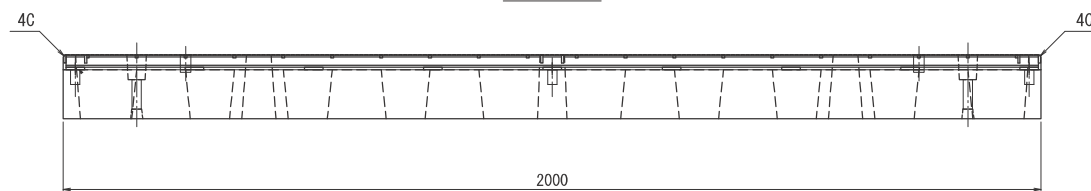
正面図 A-A



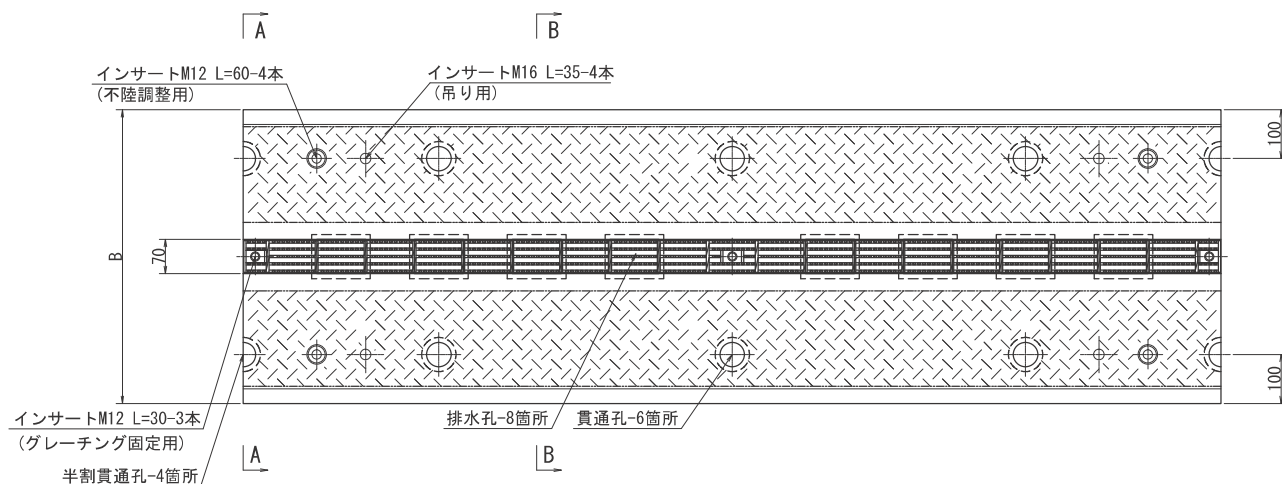
正面図 B-B



側面図



平面図



■オプション製品

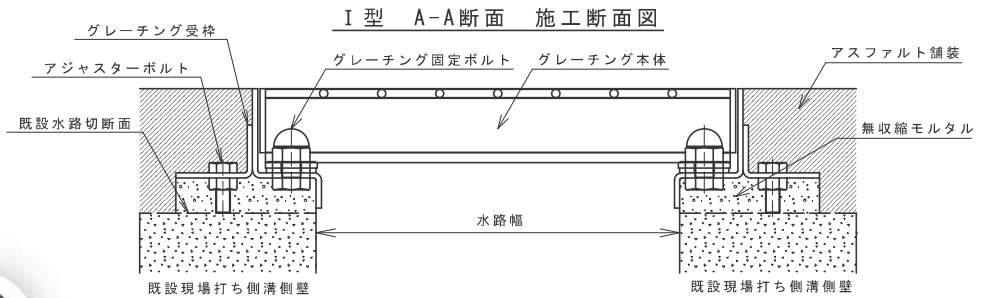
- 横断部(T-25対応)に使用可能
- 水路幅に応じた規格をご用意できます

かんたんグレーチング

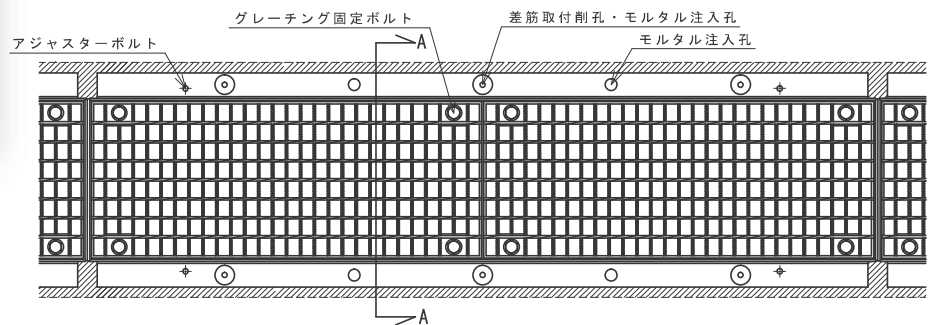
かんたんグレーチングⅠ型

(早期施工用)

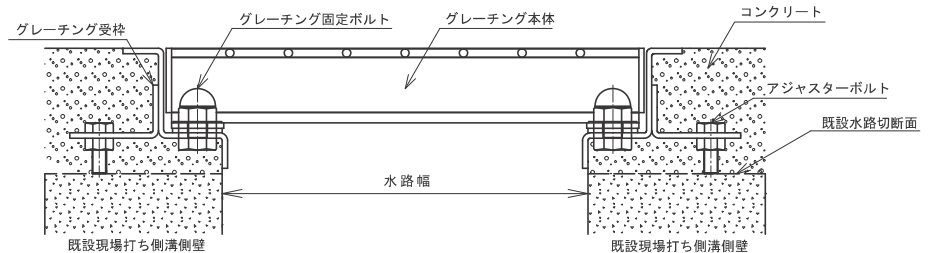
埋戻し材:無収縮モルタル
+アスファルト



I型 グレーチング受枠・本体設置平面図



Ⅱ型 A-A断面 施工断面図



かんたんグレーチングⅡ型

(通常施工用)

埋戻し材:コンクリート



Ⅱ型 グレーチング受枠・本体設置平面図

